

青梅事業所

〇〇設備自動化・リニューアル完了

作業負荷軽減、生産効率化

根津鋼材

有力コイルセンターの根津鋼材（本社・東京都荒川区、社長・根津訓光氏）では青梅事業所の設備リニューアル工事が完了。最新鋭オートシャーや大割スリッターの自動セパレータ導入のほか、大型ラインのアンコイラー改造などを順次行った。受託・賃加工拠点としてさまざまな鋼種を効率よく加工する態勢を整備。自動化・省力化も促進し、現場作業者の負荷軽減と安全性向上にもつなげた。

3・2ミ、板幅2段に対応する「ATF2035」（アマダ製）を導入。全社共通の「根津システム」も装備し、作業効率性を高めた。

これら一連の取り組み

青梅事業所（東京都青梅市今井）は、20

21年4月に根津鋼材管理」化したほか、設備については他のCC

（KCC）から事業

継承して以降、業務システムや事務作業を

「根津方式」にシフト。

並行して工場建屋や設備についても老朽化

部分の更新・改修や自

動化、安全対策などを

順次、実施した。建屋

の雨漏り対策や外壁、

内装の修繕、屋根の遮

熱塗装と併せて天井取

り付け式の大型ファン

（西田技巧製）を計8

減と労働安全性の向上

および作業リードタイムの短縮につなげる。

セパレータの自動化

も、人手による重筋作業を減らすため。裏面

検査用のカメラも設置

し、狭い箇所人が屈んで入り込む作業負荷

を無くし危険回避にも

つなげた。スリッター

は塗油材、無塗油材兼

用ラインとし、大型レ

ベラーは制御盤を更

新。パイラーに枚数力

ウンターも取り付け

た。

オートシャーは板厚

みは3月中旬までに完了。グループ相互補完

機能を向上させつつ品

質、納期面で多岐にわたる顧客ニーズを満た

せる態勢を整えた。

コイル内径に応じて自動で拡縮

①、更新したオートシャー②、自動セパレータ（安全対策も実施）



コイル内径に応じて自動で拡縮①、更新したオートシャー②、自動セパレータ（安全対策も実施）